

ローヴァーズドリームフィールド(木更津)視察報告(1/2)

今回、成田地区の施設整備要望に備えて、公共設備をリニューアルしスポーツ施設化で活用している木更津ローヴァーズドリームフィールドを訪ねました。

【視察者】 江角 覚（参事／広報兼任）、山田員之（総務部員）

【対応者】 ローヴァーズ株式会社、カレンロバート（代表）、松川耕平（取締役）、山根恵里奈（広報）

【期日】 2021年6月31日、7月12日

【場所】 木更津ローヴァーズドリームフィールド 【住所】 千葉県木更津市有吉932

【主な建物】

敷地面積 22,877平方メートル（施設台帳面積） ■ 体育館（鉄筋コンクリート造、平屋建て、延床面積1,138.41平方メートル、平成26年8月竣工） ■ 東校舎 東校舎（鉄筋コンクリート造、2階建て、延床面積730.66平方メートル、平成8年2月竣工）

【経緯】

旧中郷中学校は昭和22年に開校して以来、地域のシンボルとして親しまれてきましたが、生徒数減少等に伴い平成31年3月末をもって清川中学校と統合しました。木更津市は長年地域に親しまれてきた旧中郷中学校の跡地を有効に活用し、スポーツ推進計画における市民の健康増進、生涯スポーツ推進など、スポーツを中心とした地域活性化を図ることを目的に地域再生計画を作成され、事業者誘致にシフト、そのコンペでローヴァーズが選ばれました。

そして「人と地域をスポーツで繋ぐ」というコンセプトのもと、サッカーやバスケットなど、様々なスポーツの合宿のできる交流施設として生まれ変わりました。

【グラウンドサイズ】 103m×64m：1面、64m×50m：2面

【工事費】 ●億●千万（グラウンド人工芝化、照明設置、フェンス工事含む）工期6か月

【人工芝】 シート式、下部に伊藤園製でお茶の葉を混ぜた樹脂（ゴム）チップ、カレンロバート代表こだわりの赤い人工芝部分と観戦者用の手すりが際立つ



■元日本代表女子サッカーGK山根さんが明るく対応

■カレンロバート代表にも出迎えて頂きました



■スポンサー広告掲示兼用の手摺りと赤の人工芝部が特徴的



■人工芝はシート式下部

ローヴァーズドリームフィールド(木更津)視察報告(2/2)

なんととっても、新設まもない体育館が際立ちます。一角にトレーニング器具をおいてあり、ウェイトトレーニングもできるように配慮されています。

校舎は事務所兼用で、将来は宿泊施設化する予定とのことでした。また、体育館はコロナ化もあり公共施設が使用できないため、応募が多いとのこと。

事業としては、サッカークラブ経営のほか、貸しグラウンド・体育館にてクリケットなどの多種競技団体にも貸し出している。変わった競技?団体としてはドローン教室などにも使用されているそうです。



■照明基部は埋め込み式、高さは5mでやや低め ■4基(85ルクス/基)でコート全面を85ルクス



■校舎は近年の耐震法律をクリアできる部分を残して新地化



■トレーニング器具も充実

■体育館内部は広く、フットサルにも十分活用可能